

令和3年度 学校評価 中間評価報告

石川県立錦城特別支援学校
分析(成果と課題)

重点目標	具体的取組	主	実現状況の達成度判断基準	中間集計結果	備考																																																					
(1) 授業改善と 専門性の向 上	① <授業改善> 育成を目指す資質・能 力に基づく目標設定や学 習評価及び主体的・対話 的で深い学びの視点から 授業改善を行う。	研究 推進 課 ・ 全 学 部	担当授業等で目標設定や学習評価 主体的・対話的で深い学びの視点か ら、学習内容や指導方法の工夫改善 に取り組んだ教員の割合 A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満 *授業改善に関連する8項目(ア～ク) のうち、5項目以上取り組んでいる 教員の割合を算出	各教員が実施した項目数の割合 ① 7～8項目実施 ②5～6項目実施 ③ 3～4項目実施 ④0～2項目実施 達成度の割合(単位%) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>①</th> <th>②</th> <th>③</th> <th>④</th> <th>①+②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小</td> <td>0.0</td> <td>63.6</td> <td>27.3</td> <td>9.1</td> <td>63.6</td> </tr> <tr> <td>中</td> <td>22.2</td> <td>66.7</td> <td>11.1</td> <td>0.0</td> <td>88.9</td> </tr> <tr> <td>高</td> <td>15.0</td> <td>60.0</td> <td>15.0</td> <td>10.0</td> <td>75.0</td> </tr> <tr> <td>分訪</td> <td>0.0</td> <td>25.0</td> <td>25.0</td> <td>50.0</td> <td>25.0</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>11.4</td> <td>59.1</td> <td>18.1</td> <td>11.4</td> <td>70.5</td> </tr> </tbody> </table>		①	②	③	④	①+②	小	0.0	63.6	27.3	9.1	63.6	中	22.2	66.7	11.1	0.0	88.9	高	15.0	60.0	15.0	10.0	75.0	分訪	0.0	25.0	25.0	50.0	25.0	全体	11.4	59.1	18.1	11.4	70.5	<p>9月と2 月に教 員にア ンケ ートを実 施する</p>																	
				①	②	③	④	①+②																																																		
小	0.0	63.6	27.3	9.1	63.6																																																					
中	22.2	66.7	11.1	0.0	88.9																																																					
高	15.0	60.0	15.0	10.0	75.0																																																					
分訪	0.0	25.0	25.0	50.0	25.0																																																					
全体	11.4	59.1	18.1	11.4	70.5																																																					
<p>【達成基準】 B (「①+②」=80%以上)</p> <p>【結果】 C (「①+②」=70.5%)</p>																																																										
	<p>8項目</p> <p>ア:学習指導要領の目標や内容を基に、児童生徒の実態に合わせた目標や教材の工夫をした イ:「児童生徒にどういった力が身についたか」という学習の成果を的確にとらえるため、評価方法を工夫した ウ:目標を達成するために児童生徒の興味関心に合わせた教材について工夫した エ:単元の学習活動がなんのために必要か、「参加してみよう」と思えるストーリー(文脈)が意識できるよう工夫した オ:自分と他者の意見や考え方を比較したり、自分だけでは気付くことが難しい気持ちを待たりしながら、考えを広げたり深めたりできるような学習場面について工夫した カ:言葉での対話だけでなく、他者や他の物とかかわり合いで学んでいけるように工夫した キ:単元の学びを生活や他の学習に関連付けて生活に活かせるように工夫した ク:学習を振り返る場面を設定し、自分が学んだことを確認できるように工夫した</p>		<p>8項目ア～クの実施割合(単位%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>ア</th> <th>イ</th> <th>ウ</th> <th>エ</th> <th>オ</th> <th>カ</th> <th>キ</th> <th>ク</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小</td> <td>82</td> <td>36</td> <td>100</td> <td>46</td> <td>27</td> <td>46</td> <td>46</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>中</td> <td>100</td> <td>67</td> <td>100</td> <td>56</td> <td>56</td> <td>78</td> <td>0</td> <td>89</td> </tr> <tr> <td>高</td> <td>80</td> <td>40</td> <td>90</td> <td>55</td> <td>70</td> <td>35</td> <td>65</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>分訪</td> <td>100</td> <td>25</td> <td>100</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>86</td> <td>39</td> <td>93</td> <td>46</td> <td>55</td> <td>41</td> <td>43</td> <td>64</td> </tr> </tbody> </table>		ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	小	82	36	100	46	27	46	46	64	中	100	67	100	56	56	78	0	89	高	80	40	90	55	70	35	65	70	分訪	100	25	100	0	0	25	25	25	全体	86	39	93	46	55	41	43	64	<p>0～2項目実施 11.4% 3～4項目実施 18.1% 5～6項目実 59.1% 7～8項目実施 11.4%</p> <p>アンケートの結果、5項目以上実施した教員の割合は、小学部63.6%、中学部88.9%、高等部75.0%、分教室・訪問25.0%であった。中学部のみが基準を達成し、他の学部及び全体では達成基準に満たず、C評価となった。 項目別に見ると、項目アやウは80%を超え高かったが、項目イ、エ、カ、キについては、全体で50%を下回った。その理由としては、各項目の工夫改善に取り組んでいるイメージが共通理解できていないことが考えられ、後期に実施される授業づくり研修会で、不明な点を明確にし、研究会等で確認しながらよりよい授業づくりにつなげていきたい。</p>
	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク																																																		
小	82	36	100	46	27	46	46	64																																																		
中	100	67	100	56	56	78	0	89																																																		
高	80	40	90	55	70	35	65	70																																																		
分訪	100	25	100	0	0	25	25	25																																																		
全体	86	39	93	46	55	41	43	64																																																		
	② <専門性の向上> 専門性の向上を図り、 児童生徒の特性や能力に 応じ、確かな学びに繋が る授業を展開する。	教 務 課	授業参観等で授業内容に満足して いる保護者や関係機関職員の割合 A：A+B=90%以上が4項目 B：A+B=90%以上が3項目 C：A+B=90%以上が2項目 D：A+B=90%以上が1項目以下 *アンケートの4項目(ア～エ)を A～Dの4段階評価の割合で算出	各参観者アンケートの4段階評価の割合 Aとてもそう思う Bそう思う Cあまり思わない D思わない 達成度の割合(単位%) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>A+B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア</td> <td>67.9</td> <td>28.6</td> <td>0</td> <td>3.6</td> <td>96.5</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td>85.7</td> <td>10.7</td> <td>0</td> <td>3.6</td> <td>96.4</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td>75.0</td> <td>21.4</td> <td>0</td> <td>3.6</td> <td>96.4</td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td>64.3</td> <td>35.7</td> <td>0</td> <td>0.0</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>		A	B	C	D	A+B	ア	67.9	28.6	0	3.6	96.5	イ	85.7	10.7	0	3.6	96.4	ウ	75.0	21.4	0	3.6	96.4	エ	64.3	35.7	0	0.0	100	<p>96.5 96.4 96.4 100 ア イ ウ エ</p> <p>7月の公開参観において保護者を対象に4段階評価でアンケートを行った。 結果は、4項目ア～エ全てにおいて、A+Bが90%を超え、A評価となった。アンケートにお寄せいただいた感想や意見を今後の授業改善に活かしていく。また、後期はアンケート項目の追加も検討していく。</p> <p>参観者 にア ンケ ート を実施 する</p>																							
	A	B	C	D	A+B																																																					
ア	67.9	28.6	0	3.6	96.5																																																					
イ	85.7	10.7	0	3.6	96.4																																																					
ウ	75.0	21.4	0	3.6	96.4																																																					
エ	64.3	35.7	0	0.0	100																																																					
	<p>4項目</p> <p>ア：指導は児童生徒にとってわかりやすい イ：教員の児童生徒へのかかわりが適切である ウ：使用されている教材などに工夫がみられる エ：児童生徒が落ち着いて学習できる環境である</p>		<p>【達成基準】 B以上 (「A+B」=90%以上が3項目以上)</p> <p>【結果】 A (「A+B」=90%以上が4項目)</p>																																																							

	<p>③ <ICT機器の活用> 児童生徒がICT機器を活用し、主体的に取り組む授業を実践する。</p>	情報支援課	<p>児童生徒自身がICT機器を活用している割合 A：70%以上 B：60%以上 C：50%以上 D：50%未満</p> <p>*個々の児童生徒が1週間でICT機器を活用する使用頻度で算出</p>	<p>各児童生徒自身がICT機器を活用回数の割合 ① 週に4～5回使う 16.1% ② 週に2～3回使う 53.6% ③ 週に1回使う 19.6% ④ あまり(全く)使わない 10.7%</p> <p>達成度の割合(単位%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>①</th> <th>②</th> <th>③</th> <th>④</th> <th>①+②+③</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小</td> <td>0.0</td> <td>50.0</td> <td>12.5</td> <td>37.5</td> <td>62.5</td> </tr> <tr> <td>中</td> <td>54.5</td> <td>27.3</td> <td>18.2</td> <td>0.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>高</td> <td>8.3</td> <td>75</td> <td>16.7</td> <td>0.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>訪</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>100.0</td> <td>0.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>分</td> <td>33.3</td> <td>33.3</td> <td>33.3</td> <td>0.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>16.1</td> <td>53.6</td> <td>19.6</td> <td>10.7</td> <td>89.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>【達成基準】 B以上 (「①+②+③」=60%以上) 【結果】 A (週に1回以上活用 89.3%)</p>		①	②	③	④	①+②+③	小	0.0	50.0	12.5	37.5	62.5	中	54.5	27.3	18.2	0.0	100.0	高	8.3	75	16.7	0.0	100.0	訪	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	分	33.3	33.3	33.3	0.0	100.0	全体	16.1	53.6	19.6	10.7	89.3	 <p>アンケートの結果、全校で児童生徒がタブレット端末を週に1～5回使用している割合は89.3%でA評価となり、達成基準を満たした。ただし、高等部では生徒用タブレット端末が整備されていないため、教員用を使用している。あまり使用していない児童生徒10.7%は小学部低学年で、「複数の児童が1人1台使用すると全員に目が行き届かない」と理由を挙げている。児童生徒が1人1台端末を活用できるように、今後も工夫し環境を整えていく。</p> <p>9月と2月に個人内評価を実施する</p>							
	①	②	③	④	①+②+③																																																	
小	0.0	50.0	12.5	37.5	62.5																																																	
中	54.5	27.3	18.2	0.0	100.0																																																	
高	8.3	75	16.7	0.0	100.0																																																	
訪	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0																																																	
分	33.3	33.3	33.3	0.0	100.0																																																	
全体	16.1	53.6	19.6	10.7	89.3																																																	
<p>(2) キャリア教育の推進</p>	<p>① <プログラムの活用と改善> 錦城版キャリア教育プログラムを活用し、自己選択や自己決定に関する実践や家庭との連携を図る。(保護者等から情報を得て、生活面や学習面及び進路面について見直し、プログラムの改善を図る。)</p>	進路支援課・各担任	<p>自己選択・自己決定の面で向上や広がりが見られた児童生徒の割合 A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満</p> <p>*個々の児童生徒の自己選択・自己決定の向上や広がりが見られた場面の数で算出</p> <p><u>場面について</u> 場面については各担任が「向上や広がりが見られた内容」を挙げ記述する</p>	<p>各児童生徒の向上や広がりが見られた場面の数の割合 ① 5場面以上 ② 4場面 ③ 3場面 ④ 2場面 ⑤ 1場面以下</p> <p>達成度の割合(単位%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>①</th> <th>②</th> <th>③</th> <th>④</th> <th>⑤</th> <th>①+②+③</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>14.3</td> <td>35.7</td> <td>50.0</td> <td>14.3</td> </tr> <tr> <td>中</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>9.1</td> <td>18.2</td> <td>72.7</td> <td>9.1</td> </tr> <tr> <td>高</td> <td>12.5</td> <td>12.5</td> <td>16.7</td> <td>20.8</td> <td>37.5</td> <td>41.7</td> </tr> <tr> <td>訪</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>100</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>分</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>66.7</td> <td>0.0</td> <td>33.3</td> <td>66.7</td> </tr> <tr> <td>鉢</td> <td>5.7</td> <td>5.7</td> <td>17.0</td> <td>22.6</td> <td>49.1</td> <td>28.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>【達成基準】 B以上 (「①+②+③」=70%以上) 【結果】 D (「①+②+③」=28.4%)</p>		①	②	③	④	⑤	①+②+③	小	0.0	0.0	14.3	35.7	50.0	14.3	中	0.0	0.0	9.1	18.2	72.7	9.1	高	12.5	12.5	16.7	20.8	37.5	41.7	訪	0.0	0.0	0.0	0.0	100	0.0	分	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3	66.7	鉢	5.7	5.7	17.0	22.6	49.1	28.4	 <p>全体では、①、②、③の合計が28.4%でD評価となり、達成基準を満たさず、2場面以下を挙げた教員が多かった。高等部では、4場面以上を挙げた教員が25%で、多くが、作業学習での場면을挙げており、毎週同じ時間帯での継続した学習内容であり、向上や広がり具体的な見られたと言える。</p> <p>達成度の割合が全体的に低い、年間を通しての把握を見込んでおり、一人一人の成長の度合いや障害特性、発語や表現の状態等にも配慮しながら、今後も意識してかわり、児童生徒の自己実現に繋げたい。更に家庭との連携を密に取り一人一人を応じた、自己選択・自己決定を促す場面作りを大切に支援していく。</p> <p>9月と2月に個人内評価を行う(年間トータル)</p>
	①	②	③	④	⑤	①+②+③																																																
小	0.0	0.0	14.3	35.7	50.0	14.3																																																
中	0.0	0.0	9.1	18.2	72.7	9.1																																																
高	12.5	12.5	16.7	20.8	37.5	41.7																																																
訪	0.0	0.0	0.0	0.0	100	0.0																																																
分	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3	66.7																																																
鉢	5.7	5.7	17.0	22.6	49.1	28.4																																																

キャリア教育の具体的な取組内容を意識し、家庭等でも取り組もうとしている保護者の割合
 A：70%以上
 B：60%以上
 C：50%以上
 D：50%未満

*家庭等で取り組もうとしている保護者の割合で算出

各保護者アンケートの4段階評価の割合

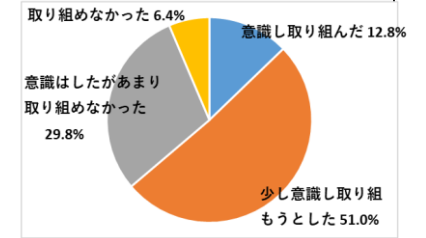
- ①意識し、取り組んだ
- ②少し意識し、取り組もうとした
- ③意識はしたが、あまり取り組めなかった
- ④取り組めなかった

達成度の割合(単位%)

	①	②	③	④	①+②
小	0.0	53.3	40.0	6.7	53.3
中	9.1	63.6	9.1	18.2	72.7
高	23.8	42.9	33.3	0.0	66.7
全体	12.8	51.0	29.8	6.4	63.8

【達成基準】 B以上 (「①+②」=60%以上)

【結果】 B (「①+②」=63.8%)



家庭でのキャリア教育について、小学部は53.3%と達成基準に届かなかったが全体としては63.8%でB評価となり、達成基準を満たした。取り組んだ保護者からの記述では、小、中学部は「遊びのルール、自発的な挨拶や着る服を選ぶ、着替え、お手伝い」等、高等部では、「家事、手伝い、自主的な挨拶」「自ら考えて取り組むことを意識させる」等が挙げられた。取り組めなかった理由として、全学部共通の内容は「何をすれば良いかわからない、家で取り組むには難しい、やる気を持たせるところまでは、いけなかった、日々の生活が忙しくできなかった」等が挙げられた。

9月と2月に保護者にアンケートを実施する

② <進路支援の充実> 「進路の手引き」や「はじめの一歩」、映像を活用しキャリア教育や進路支援の充実を図る。

進路支援に繋がる情報を得て、授業や保護者・地域との関わりに活かしている職員の割合
 A：80%以上
 B：70%以上
 C：60%以上
 D：60%未満

*進路支援に繋がる情報を職員が活用できた5項目の合計回数で算出

5項目 (活用できた場面や内容等)

- ・保護者懇談時
- ・教科の指導
- ・進路指導、進路学習
- ・各関係機関との連携
- ・その他

各職員が進路支援情報を活用した5項目の合計回数の割合

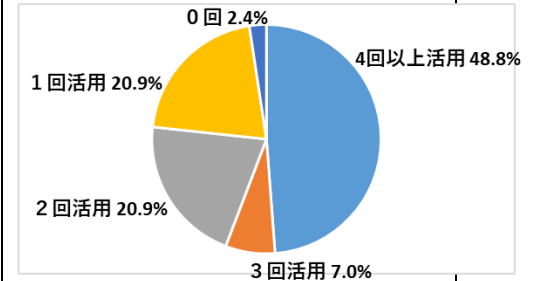
- ① 4回以上活用
- ② 3回活用
- ③ 2回活用
- ④ 1回活用
- ⑤ 0回 (活用できなかった)

達成度の割合(単位%)

	①	②	③	④	⑤	①+②
小	54.5	0.0	27.3	18.2	0.0	54.5
中	44.5	11.1	33.3	11.1	0.0	55.6
高	57.9	10.5	10.5	15.8	5.3	68.4
訪	0.0	0.0	0.0	100	0.0	0.0
分	0.0	0.0	100	0.0	0.0	0.0
鉢	48.8	7.0	20.9	20.9	2.4	55.8

【達成基準】 B (「①+②」=70%以上)

【結果】 D (「①+②」=55.8%)



アンケートの結果、全体としては55.8%でD評価となり、達成基準を満たせなかった。学部別で見ると、小学部は54.5%、中学部は55.6%、高等部は68.4%、訪問と分教室は、活用できる項目内容が限られてしまうため0%であった。また、5項目のうち回数の多いものは小学部では保護者懇談時、中学部では進路指導、進路学習、高等部ではその他を除く4項目ともほぼ平均した回数となっている。分教室や訪問では、各関係機関との連携のみに活かしているという結果になった。5項目活用の合計回数は、年間通しての累計のため、後期でも活用するよう働きかけていく。

9月と2月に職員アンケートを実施する (年間トータル)

重点目標	具体的取組	主	実現状況の達成度判断基準	中間集計結果	分析（成果と課題）	備考																																																																																				
(3) 安心・安全な学校づくり	① <危機管理意識の向上> マニュアルやヒヤリハット等を参考に、日常の安全管理に留意した行動を取り、事故防止や健康管理を行う。	指導課	マニュアルやヒヤリハット、事故報告等を参考に日常の安全管理に留意した行動をとっている職員の割合 A：100% B： <u>90%以上</u> C：80%以上 D：80%未満 *安全管理に関する5項目中4項目以上実施したと回答した職員の割合で算出	各職員が実施した項目数の割合 ① 5項目実施 ② 4項目実施 ③ 3項目実施 ④ 2項目実施 ⑤ 1項目実施 達成度の割合(単位%) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>①</th> <th>②</th> <th>③</th> <th>④</th> <th>⑤</th> <th>①+②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小</td> <td>15.4</td> <td>53.8</td> <td>7.7</td> <td>15.4</td> <td>7.7</td> <td>69.2</td> </tr> <tr> <td>中</td> <td>20.0</td> <td>50.0</td> <td>20.0</td> <td>10.0</td> <td>0.0</td> <td>70.0</td> </tr> <tr> <td>高</td> <td>57.1</td> <td>23.8</td> <td>4.8</td> <td>9.5</td> <td>4.8</td> <td>81.0</td> </tr> <tr> <td>分</td> <td>33.0</td> <td>67.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>鉢</td> <td>36.2</td> <td>40.4</td> <td>8.5</td> <td>10.6</td> <td>4.3</td> <td>76.6</td> </tr> </tbody> </table>		①	②	③	④	⑤	①+②	小	15.4	53.8	7.7	15.4	7.7	69.2	中	20.0	50.0	20.0	10.0	0.0	70.0	高	57.1	23.8	4.8	9.5	4.8	81.0	分	33.0	67.0	0.0	0.0	0.0	100.0	鉢	36.2	40.4	8.5	10.6	4.3	76.6	 <p>アンケートの結果、「①+②」の全体の割合は、76.6%でD評価となり達成基準に達しなかった。項目別では、項目ウで8名、項目エで11名が実施していなかった。項目エに関しては、危機管理マニュアルを確認したものの、理解までではできなかったと考えられる。項目ウ、エが課題であり、今後も職員が高い意識をもって防火管理責任箇所の整理整頓、危機管理マニュアルの確認や理解をしていくことで、児童生徒の安全に関する指導支援を行うよう取り組んでいかなければならない。</p>	9月と2月に職員アンケートを実施する																																										
		①	②	③	④	⑤	①+②																																																																																			
小	15.4	53.8	7.7	15.4	7.7	69.2																																																																																				
中	20.0	50.0	20.0	10.0	0.0	70.0																																																																																				
高	57.1	23.8	4.8	9.5	4.8	81.0																																																																																				
分	33.0	67.0	0.0	0.0	0.0	100.0																																																																																				
鉢	36.2	40.4	8.5	10.6	4.3	76.6																																																																																				
② <健康・安全・防災に関する教育活動の充実> 健康・安全・防災に関する授業や行事等において実践を行う。	指導課・保健課・各部	新型コロナウイルス感染症に対応した指導及び学校安全計画に即した指導を行っている職員の割合 A：100% B： <u>90%以上</u> C：80%以上 D：80%未満 *各課の5項目の実施状況を4段階で評価し、「十分行った+行った」と答えた職員の割合で算出	各職員が指導した4段階評価の割合 ①十分行った ②行った ③あまり行えなかった ④全く行わなかった 【保健課】達成度の割合(単位%) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>ア</th> <th>イ</th> <th>ウ</th> <th>エ</th> <th>オ</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小</td> <td>92.3</td> <td>100</td> <td>92.3</td> <td>100</td> <td>61.5</td> <td>89.2</td> </tr> <tr> <td>中</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>高</td> <td>100</td> <td>90.8</td> <td>95.2</td> <td>100</td> <td>95.2</td> <td>96.2</td> </tr> <tr> <td>分</td> <td>33.3</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>33.3</td> <td>73.3</td> </tr> <tr> <td>鉢</td> <td>93.6</td> <td>95.7</td> <td>95.7</td> <td>100</td> <td>83.0</td> <td>93.6</td> </tr> </tbody> </table>		ア	イ	ウ	エ	オ	平均	小	92.3	100	92.3	100	61.5	89.2	中	100	100	100	100	100	100	高	100	90.8	95.2	100	95.2	96.2	分	33.3	100	100	100	33.3	73.3	鉢	93.6	95.7	95.7	100	83.0	93.6	【保健課】達成度の割合(単位%) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>カ</th> <th>キ</th> <th>ク</th> <th>ケ</th> <th>コ</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小</td> <td>61.5</td> <td>69.2</td> <td>84.6</td> <td>84.6</td> <td>100</td> <td>80.0</td> </tr> <tr> <td>中</td> <td>80.0</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>90.0</td> <td>94.0</td> </tr> <tr> <td>高</td> <td>90.5</td> <td>90.5</td> <td>95.2</td> <td>100</td> <td>90.5</td> <td>93.3</td> </tr> <tr> <td>分</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>鉢</td> <td>79.5</td> <td>86.4</td> <td>93.2</td> <td>95.5</td> <td>90.1</td> <td>88.9</td> </tr> </tbody> </table>		カ	キ	ク	ケ	コ	平均	小	61.5	69.2	84.6	84.6	100	80.0	中	80.0	100	100	100	90.0	94.0	高	90.5	90.5	95.2	100	90.5	93.3	分	—	—	—	—	—	—	鉢	79.5	86.4	93.2	95.5	90.1	88.9	【保健課】新コロナウイルス感染症対応が実質2年目となり、手洗いやマスクの着用、三密の回避等の対策が定着してきており、アンケート結果は、4項目で90%を超え、全体としてB評価となり、達成基準を満たした。 ただし、項目オの変異株対応については、小学部や分教室では低い結果となった。これは、変異株という概念がやや分かりにくいことや、基本的な対応は従来株とほとんど違いがないことが原因と考えられる。変異株について、保健だより等で分かりやすく示し、より一層の注意を喚起する必要がある。 【指導課】アンケートの結果、3項目で90%を超えたが、全体として88.9%でC評価となり、達成基準に達しなかった。小学部では、項目カとキはD評価、クとケでC評価、中学部においては、項目カだけC評価となった。これらは、担任を中心とした指導が行われていないことで、評価できなかった職員がいたためと推測する。 後期は、各部の「学校安全計画」の実践をより一層推進していくことで充実を図っていく。	9月と2月に職員アンケート実施、内容・工夫点も調査する
	ア	イ	ウ	エ	オ	平均																																																																																				
小	92.3	100	92.3	100	61.5	89.2																																																																																				
中	100	100	100	100	100	100																																																																																				
高	100	90.8	95.2	100	95.2	96.2																																																																																				
分	33.3	100	100	100	33.3	73.3																																																																																				
鉢	93.6	95.7	95.7	100	83.0	93.6																																																																																				
	カ	キ	ク	ケ	コ	平均																																																																																				
小	61.5	69.2	84.6	84.6	100	80.0																																																																																				
中	80.0	100	100	100	90.0	94.0																																																																																				
高	90.5	90.5	95.2	100	90.5	93.3																																																																																				
分	—	—	—	—	—	—																																																																																				
鉢	79.5	86.4	93.2	95.5	90.1	88.9																																																																																				
	⑤項目 ア：教室、廊下、手洗い場等のゴミを処分するなど、衛生面に気を付けた イ：教員の目が届いていない場面や死角になる場所がないか気を配った ウ：防火管理責任箇所の見回りや整理を行った。防火管理責任箇所のない人は気づいた箇所の整理を行った エ：危機管理マニュアル（個別のものを含む）を確認し、理解した オ：授業等でのヒヤットしたことを他の教員と共通理解し、防止に努めた			【達成基準】 B以上 （「①+②」=90%以上） 【結果】 D （「①+②」=76.6%）																																																																																						
	【保健体育課】⑤項目 ア：児童生徒に丁寧な手洗いや適切なマスクの着用、食事場面の配慮（黙食）を行うように指導した。 イ：児童生徒が密集しないように常時気をつけて指導、または環境設定した ウ：児童生徒が近距離で会話したり交流（密接）しないように指導、または環境設定した エ：授業やその他の学校生活において教室等活動場所の換気を行った オ：変異株の流行により、これまで以上に感染防止に気をつける必要があることを児童生徒に指導した 【指導課】⑤項目 カ：長期休業にあたり生活・交通・災害に関する指導をした キ：火災時の避難訓練にあたり、安全な避難について指導した ク：搜索訓練で、マニュアルを理解し適切な行動を行った ケ：不審者対応訓練で、マニュアルを理解し、適切な行動を行った コ：学校安全計画に基づき授業で安全な行動について指導した			【達成基準】 B以上 （「①+②」=90%以上） 【結果】 B （「①+②」=93.6%） 【指導課】達成度の割合(単位%) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>カ</th> <th>キ</th> <th>ク</th> <th>ケ</th> <th>コ</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小</td> <td>61.5</td> <td>69.2</td> <td>84.6</td> <td>84.6</td> <td>100</td> <td>80.0</td> </tr> <tr> <td>中</td> <td>80.0</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>90.0</td> <td>94.0</td> </tr> <tr> <td>高</td> <td>90.5</td> <td>90.5</td> <td>95.2</td> <td>100</td> <td>90.5</td> <td>93.3</td> </tr> <tr> <td>分</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>鉢</td> <td>79.5</td> <td>86.4</td> <td>93.2</td> <td>95.5</td> <td>90.1</td> <td>88.9</td> </tr> </tbody> </table>		カ	キ	ク	ケ	コ	平均	小	61.5	69.2	84.6	84.6	100	80.0	中	80.0	100	100	100	90.0	94.0	高	90.5	90.5	95.2	100	90.5	93.3	分	—	—	—	—	—	—	鉢	79.5	86.4	93.2	95.5	90.1	88.9	【達成基準】 B以上 （「①+②」=90%以上） 【結果】 C （「①+②」=88.9%）																																											
	カ	キ	ク	ケ	コ	平均																																																																																				
小	61.5	69.2	84.6	84.6	100	80.0																																																																																				
中	80.0	100	100	100	90.0	94.0																																																																																				
高	90.5	90.5	95.2	100	90.5	93.3																																																																																				
分	—	—	—	—	—	—																																																																																				
鉢	79.5	86.4	93.2	95.5	90.1	88.9																																																																																				

(4) 業務の平準化と効率化の工夫	① <平準化の推進と効率化の工夫> 校務分掌における業務の平準化を推進し、各自が業務の効率化を工夫する。	教頭 校務分掌における業務の平準化に取り組み、昨年度より業務の効率化を工夫している職員の割合 A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満 *業務の平準化や効率化に関連する7項目（ア～キ）のうち、4項目以上取り組んでいる職員の割合を算出
-------------------	---------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- 7項目**
- ア：各課等での業務の行事等の見直しや精選について考え、建設的な意見を言った
 - イ：複数で担当している各課等の業務で負担が偏らないように進捗状況を確認し合い、協力した
 - ウ：各部での業務や行事等の見直しや精選について考え、建設的な意見を言った
 - エ：複数で担当している各部の業務で負担が偏らないように協力し、準備・実施した
 - オ：TTの授業では、MTまたはSTと連携・協力し、授業準備や教材製作等に取り組んだ
 - カ：会議の効率化（資料の前日配付、事前に目を通す、終了時間を意識して話す等）に一層努めた
 - キ：上記以外で、各自でできる業務の効率化について考え、実施している

各職員が実施した項目数の割合

① 5項目以上実施 ② 4項目実施
③ 3項目実施 ④ 2項目実施
⑤ 1項目実施

達成度の割合(単位%)

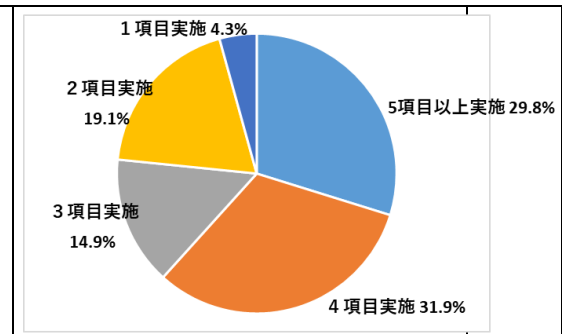
	①	②	③	④	⑤	①+②
小	23.1	23.1	15.4	38.4	0	46.2
中	30.0	40.0	0.0	20.0	10.0	70.0
高	38.1	38.1	9.5	9.5	4.8	76.2
分	0.0	0.0	100	0.0	0.0	0.0
銚	29.8	31.9	14.9	19.1	4.3	61.7

【達成基準】 B以上 （「①+②」=70%以上）

【結果】 C （「①+②」=61.7%）

7項目ア～キの実施割合（単位%）

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ
小	46	23	15	62	77	62	23
中	60	30	40	40	80	90	20
高	71	57	52	71	76	90	5
分	33	0	0	100	0	100	33
銚	60	38	36	64	72	83	15



アンケートの結果、4項目以上実施した職員の割合は全体として61.7%でC評価となり、達成基準に満たなかった。5項目以上実施した職員が1番多かったのは高等部で、小学部は2項目実施したと回答した職員が1番多かった。中・高等部は、7項目中4項目以上を実施しておりB評価となったが、小学部と分教室はD評価となり、学部間の差が大きいことが分かった。小学部では、業務の見直しや精選について検討する機会が少なかったことが実施項目の少なさに繋がったと考えられ、また、分教室も実施項目に偏りが見られるため低い評価となったと考えられる。

項目別に比較すると、項目オ、カを実施した職員がどの部も多かった。高等部ではア～カのどの項目でも半数以上の職員が取り組んでおり、業務の平準化や会議の効率化の意識が高い。

今後は、自由記述で書かれた意見を取り入れ、業務の平準化や効率化に向け、各課・各部での取り組みが進むように働きかけていく。

9月と2月に職員アンケートを実施する